

第 26 回 C5 研究会

日時：2020 年 11 月 27 日（金）20：00～21：00

開催方法：オンライン開催

テーマ

複雑な患者背景 (complicated cardiac conditions) をひもとき、より適切な治療につなげる参加型議論プログラム

2020 年循環器領域は様々なガイドライン改定が行われ、個々の患者に応じて、治療選択するリスクとベネフィットを考慮する姿勢が鮮明になりました。一方、日々の臨床においてはガイドラインだけでは正解を導きだすのが難しい、複雑 (Complicated) な心血管動態 (Cardiac Conditions) の症例が多くみられます。改定されたガイドラインを紐解きながら、適切適時に行えば絶大な治療効果を発揮するカテーテル治療 (Catheter) を武器に、どのような解決策を模索すればいいのか、聴衆の皆様と知恵を出し合う研究会 (Conference) が C5 研究会です。会場参加型のいわば Live に議論が白熱する当研究会を通じて、明日からの診療にお役に立てるヒントが得られれば幸いです。

※※プログラム※※

司会：谷川 高士 (松阪中央総合病院)

野崎 洋一 (北光記念病院)

スペシャルコメンテーター：鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

ディスカスタント：芦田 和博 (聖隷横浜病院)

三宅 省吾 (三宅クリニック)

森田有紀子 (国立病院機構 相模原病院)

山本 克浩 (関西医科大学総合医療センター)

近江 晃樹 (日本海総合病院)

前島 信彦 (横浜市立大学市民医療センター)

症例 1 多枝高度狭窄性病変に対する治療方針

大村 崇 (桑名総合医療センター)

症例 2 悪性腫瘍合併が疑われた高次脳機能障害のある多枝病変 NSTEMI の一例

岡島 裕一 (藤沢市民病院)